

2021年(令和3年)12月30日 木曜日

建設標

孫と善光寺平用水をたどる

今年は、小学校4年生の孫と、善光寺平用水を2回たどりました。1回目は夏休みの自由研究のお手伝いで裾花川取水口から小学校まで、2回目は秋に行われた現地見学授業を補足するかたちでダムの取水口からピッグハットまで巡りました。

小学校では3、4年生の社会の時間に、郷土の歴史や産業を学ぶそうで、教材は、地域の社

会科教育の先生方が協力して作ったものだそうです。孫の学校では、水路を管理する土地改良区の方から説明を聞いた後、先生方が現地へ連れて行って説明しているようです。

この地域教材を見せてもらいましたが、大人になってからこの町に住んでいた私には、知らないことがたくさんあり、食い入るように読みてしましました。分かりやすい教材にしてくれた先生方に敬意を表します。

先日、市街地化が進んでいる善光寺平用水の下流地域で農業を行っている友人から、地域を知る目的で用水をさかのぼってみようという企画が進んでいると聞きました。新住民が多いこの町ですが、自分たちの住んでいた地域のことを知り、関心を持つことで、新たな郷土愛につながっていくと思います。

長野市 赤羽 昭彦

(会社員・66)